

# ルワンダの経験から学ぶ — 紛争後の復興と発展

Rwanda's Experience of Post Conflict Reconstruction and Development

講師: Ms. Aloisea Inyumba (アロイシア・イニュンバ氏)

日時: 2008年3月6日(木) 17:30~19:00

場所: 大阪大学吹田キャンパス人間科学研究科東館106号

主催: 大阪大学グローバルCOEプログラム「コンフリクトの人文国際研究教育拠点」  
大阪大学グローバルコラボレーションセンター

共催: 日本アフリカ学会関西地区例会

独立行政法人国際協力機構大阪国際センター (JICA大阪)

\*英語講演

ルワンダは、つねにツツ人・ツチ人・ツワ人に分断されていた国家ではなく、過去何世紀にもわたって共通の文化・言語を共有する国民国家として成り立ってきた。しかし、植民地期の政府は、民族間の分断を固定する政策を施行し、民族の多様性は人種間の差異として再構成された。これがその後のルワンダの状況を決定づけ、脱植民地期には、劣悪なガバナンスの結果、最終的には100日間で100万人が殺戮されるという、1994年のジェノサイドが発生した。

紛争後、新しい国民統一政府のリーダーシップのもと、復興・発展に向けて、国民和解の達成と、兵士のDDRRR(動員解除、武装解除、帰還、再定住、社会復帰)が図られた。また、警察や軍隊が再編成され、新憲法も制定された。経済改革も進んでいる。本セミナーでは、政府要人として紛争後の復興・発展に取り組んできた、イニュンバ氏に、これまでの過程と今後の展望を論じていただく。

Ms. Aloisea Inyumba (アロイシア・イニュンバ氏)

現職はルワンダ共和国上院議員。ウガンダ、マケレレ大学卒。  
1994年以降、家族・ジェンダー・社会問題省大臣、国民統一と  
和解委員会委員長、キガリ・ンガリ州知事などを歴任。

問い合わせ先

大阪大学グローバルコラボレーションセンター

TEL:06-6879-4442 FAX:06-6879-4444

E-Mail: [jimu@glocol.osaka-u.ac.jp](mailto:jimu@glocol.osaka-u.ac.jp)

<http://www.glocol.osaka-u.ac.jp/>

